

野菜の生産・流通・消費動向の概要

令和2年3月3日(火)

独立行政法人農畜産業振興機構

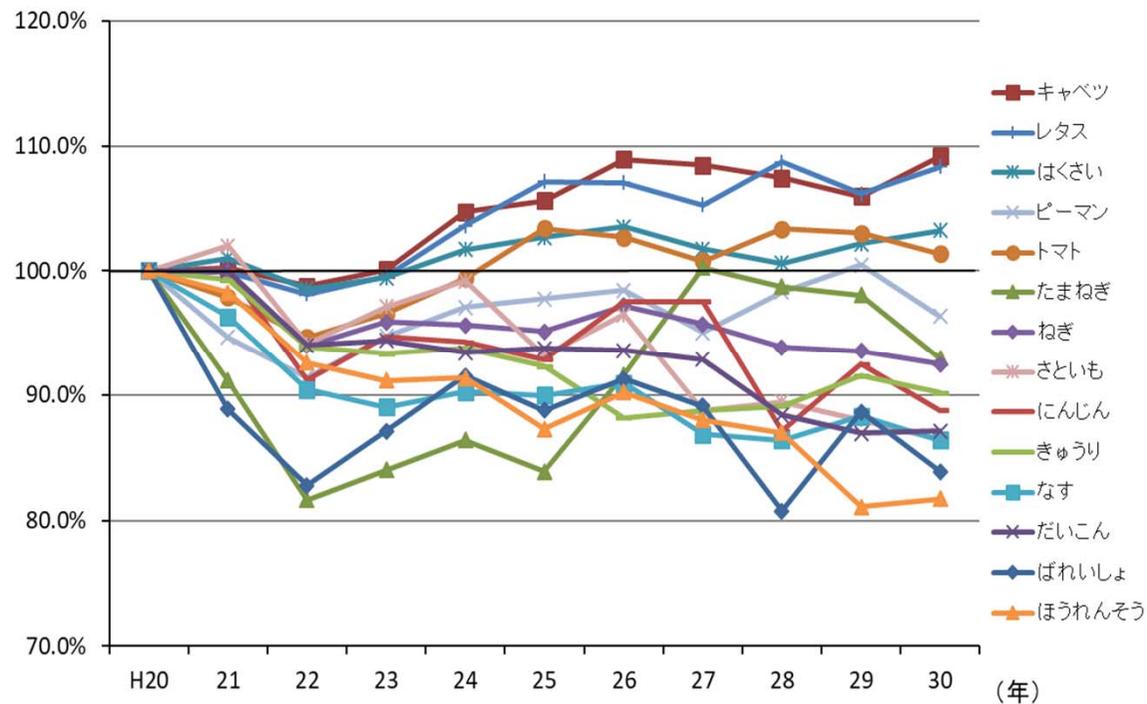
指定野菜の出荷量の推移

- 指定野菜の出荷量は、ばれいしょが一番多く、次いでキャベツ、だいこんと続いている。
- 直近10年間の推移は、全体的に減少傾向であるものの、キャベツ、レタスは増加。ばれいしょ、なす、さといも、ほうれんそうの減少率が大きくなっている。

指定野菜の出荷量の推移

	(千トン)											
	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	30/20
ばれいしょ	2,251	2,001	1,864	1,961	2,061	1,999	2,055	2,006	1,818	1,996	1,889	84%
キャベツ	1,208	1,211	1,193	1,209	1,265	1,276	1,316	1,310	1,298	1,280	1,319	109%
たまねぎ	1,121	1,022	915	942	969	941	1,027	1,124	1,107	1,099	1,042	93%
だいこん	1,250	1,250	1,175	1,180	1,168	1,172	1,170	1,161	1,105	1,087	1,089	87%
はくさい	711	719	701	708	723	731	737	724	716	727	734	103%
トマト	648	635	614	626	645	671	666	653	670	668	657	101%
レタス	511	510	501	509	529	547	547	538	555	542	553	108%
にんじん	577	577	527	547	544	536	563	563	503	534	513	89%
きゅうり	528	524	495	493	495	487	466	468	471	483	476	90%
ねぎ	400	400	376	384	383	381	389	383	376	374	370	93%
なす	273	263	247	243	247	246	249	237	236	241	236	86%
ほうれんそう	238	234	221	217	218	208	215	210	207	193	195	82%
ピーマン	129	122	118	122	125	126	127	123	127	130	125	96%
さといも	110	112	104	107	109	103	106	98	99	97	95	86%
計	9,957	9,581	9,051	9,247	9,481	9,423	9,632	9,598	9,287	9,452	9,293	93%

指定野菜の出荷量の増減率の推移



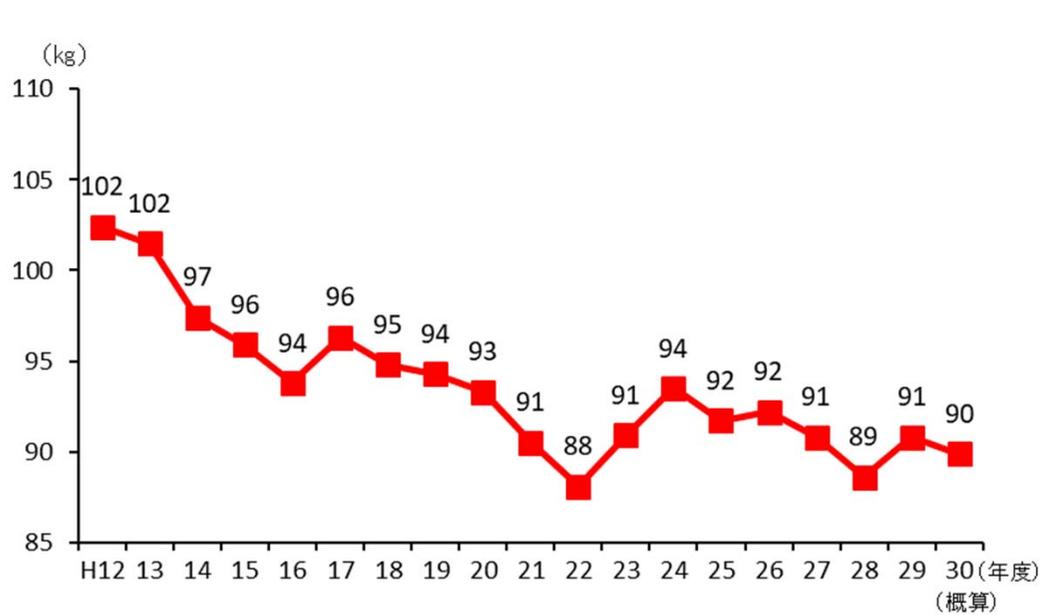
資料:農林水産省「野菜生産出荷統計」

資料:農林水産省「野菜生産出荷統計」

野菜の消費の推移

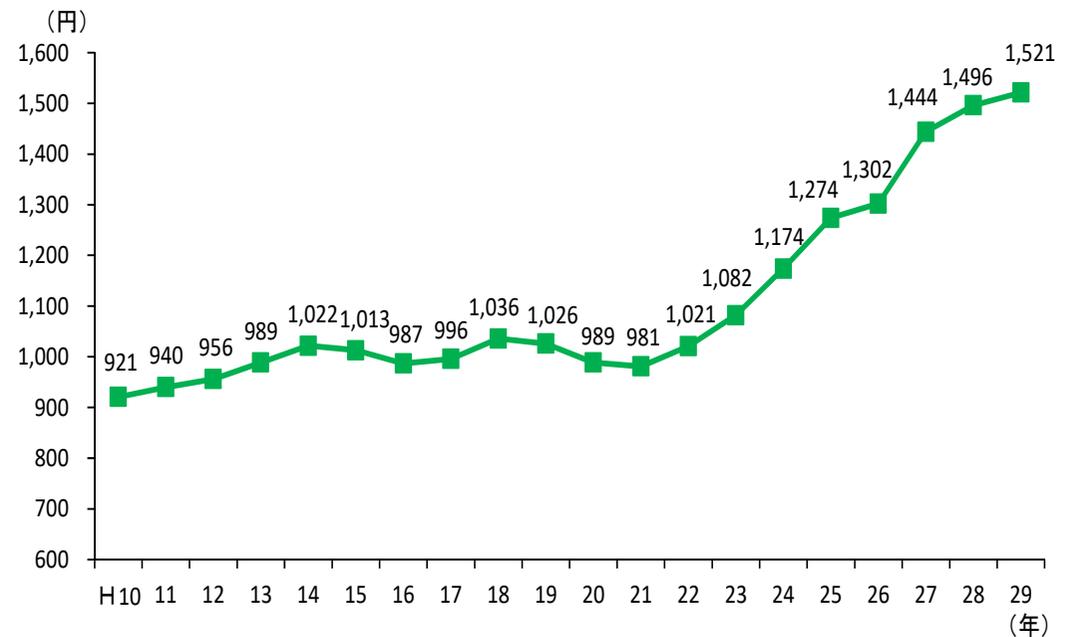
- 野菜の消費量は減少傾向にあり、平成30年度（概算）では1人1年当たり90kg。
- サラダ購入金額は、増加傾向で推移し、平成29年では1人1年当たり1,521円。

○ 野菜消費量の推移（1人1年当たり）



資料：農林水産省「食料需給表」

○ サラダの購入金額の推移（1人1年当たり）

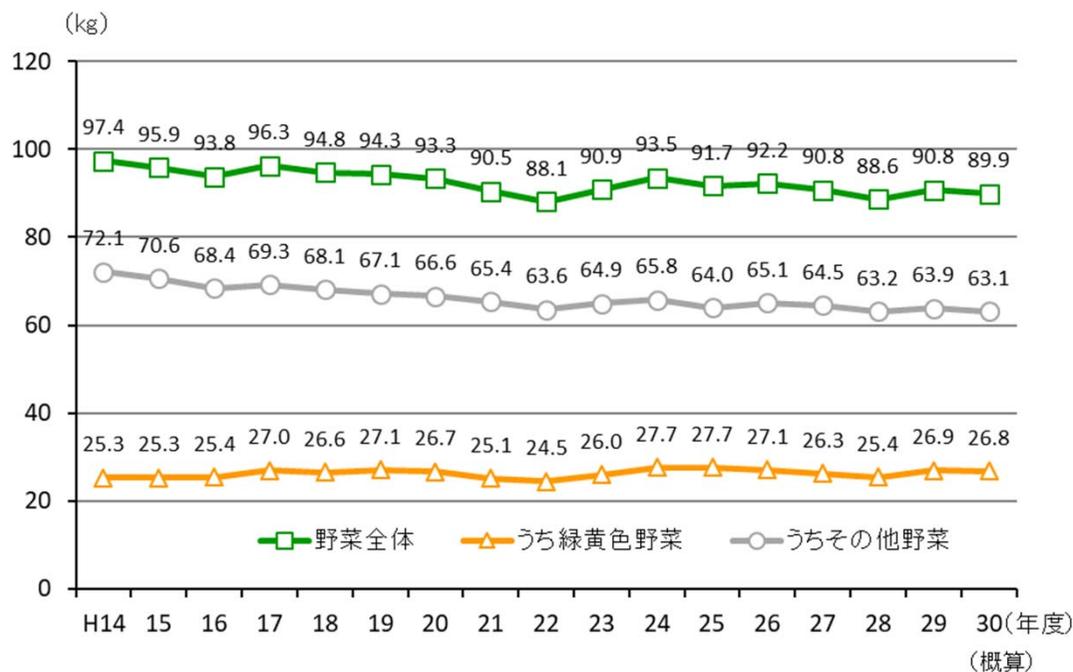


資料：総務省「家計調査」（農林漁家世帯を除く2人以上の世帯）
ただし、総務省「消費者物価指数（平成27年基準）」のサラダの指数より算出

【1人当たりの野菜消費量の推移】

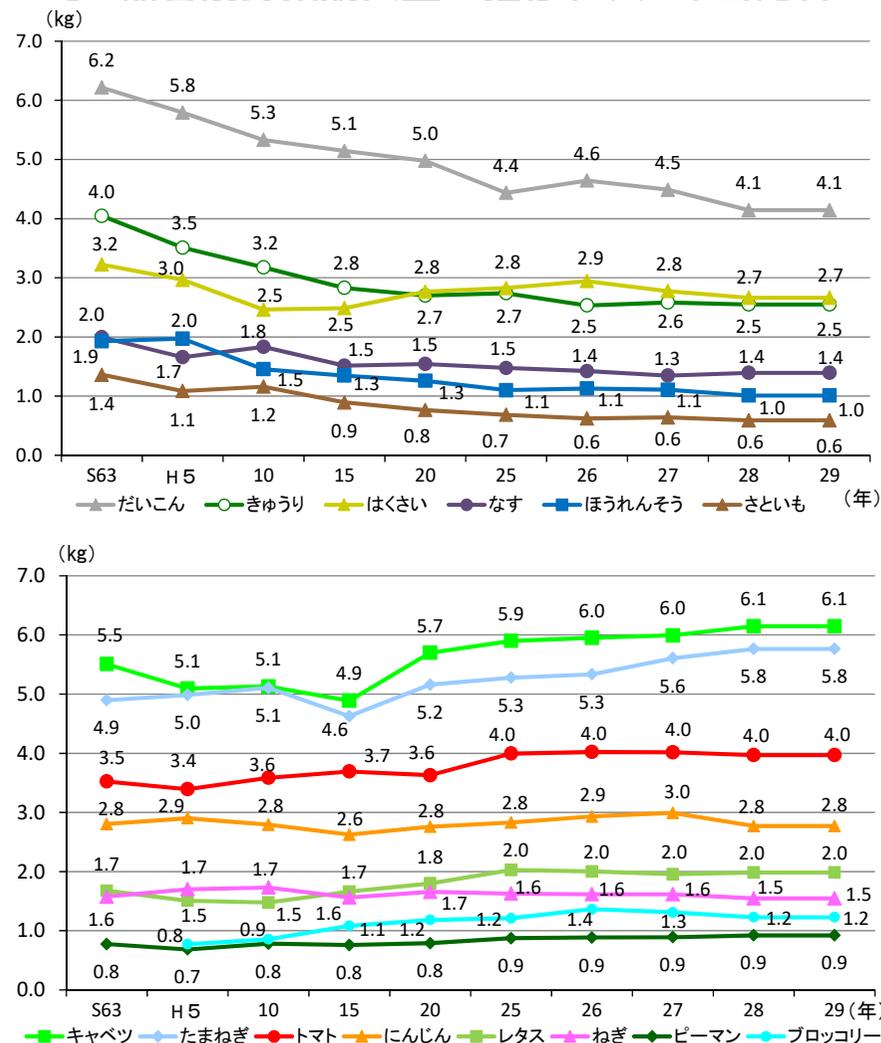
- 野菜の消費量は、平成30年度（概算）では1人1年当たり90kgとなっており、1人当たりの消費量は、横ばいから微減傾向である。
- 家庭の生鮮野菜の品目別購入量は、平成29年では重量野菜であるだいこんやはくさいのほか、きゅうり、ほうれんそう等が減少傾向で推移する一方、緑黄色野菜であるトマト、レタス、ピーマン等は、増加又は横ばい傾向で推移している。
- 指定野菜で購入量が多いのは、キャベツである一方、少ないものはさといもとなっている。

○ 1人1年当たりの野菜消費量の推移



資料：農林水産省「食料需給表」

○ 品目別野菜購入量の推移(1人1年当たり)



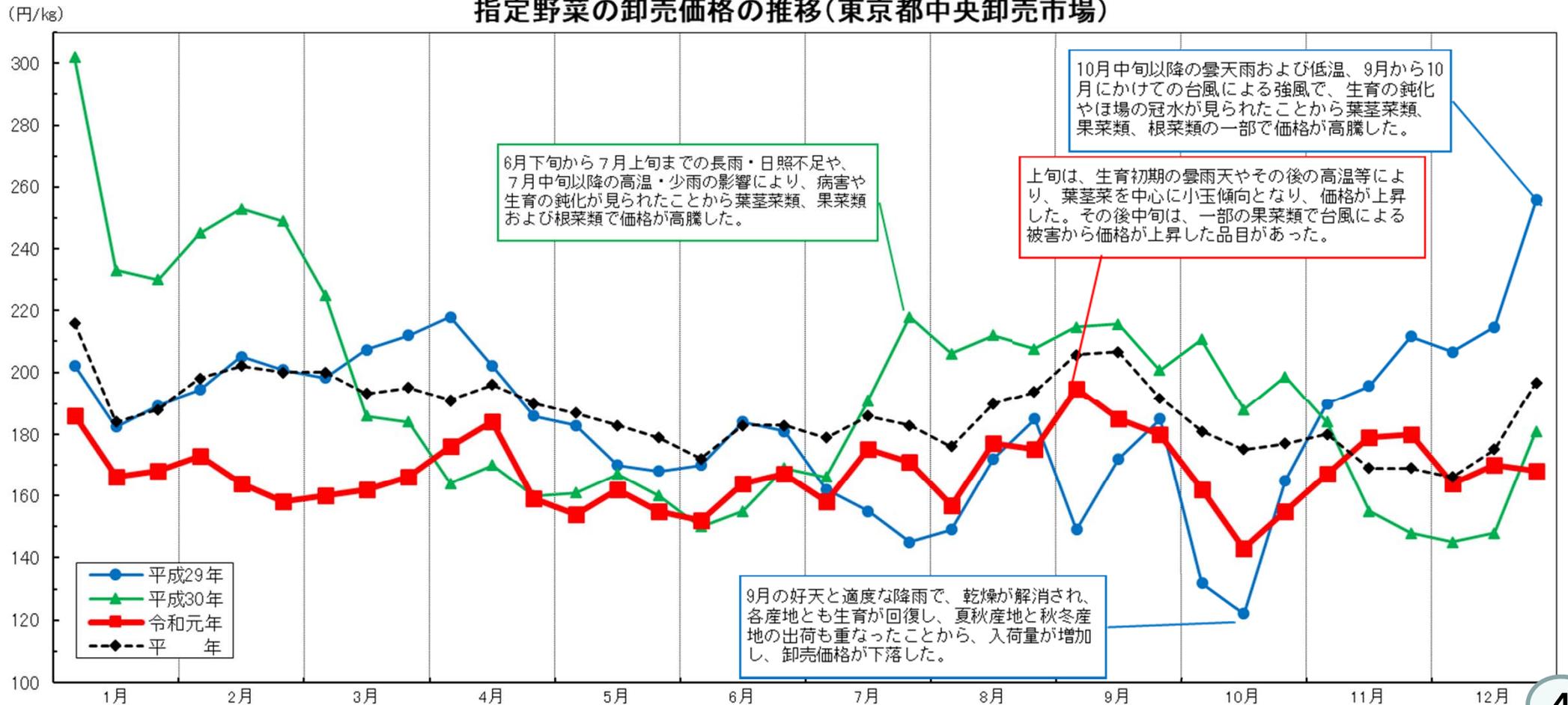
資料：総務省「家計調査(年報)」(2人以上の世帯)

野菜の卸売価格動向

【平成30年】 年明けの低温と降雪の影響から全般的に生育が遅れ、3月上旬までは、平年を上回ったものの、4月以降は、温暖な気候から、入荷量が増加し、平年を下回った。7月は、西日本を中心とした豪雨や台風、高温干ばつによる天候不順があり、8月以降は、北日本の降雨、低温や台風により、入荷量が減少したため、平年を上回ったが、11月は高温・高日照から、天候不順で遅れていた生育が回復し、平年を下回って推移した。

【平成31年(令和元年)】 暖冬傾向により3月までは安値が継続したものの、一物品目が低温干ばつの影響を受けたことから4月は前年を上回った。5月以降は、入荷量が安定したことから安値が継続し、9月は、葉茎菜の一部で生育中の高温の影響を受けて入荷量が減少したことにより、前年を上回った。10月は、果菜類の一部で台風15号の影響があったものの、価格は安かった前年を上回ったが平年を下回った。

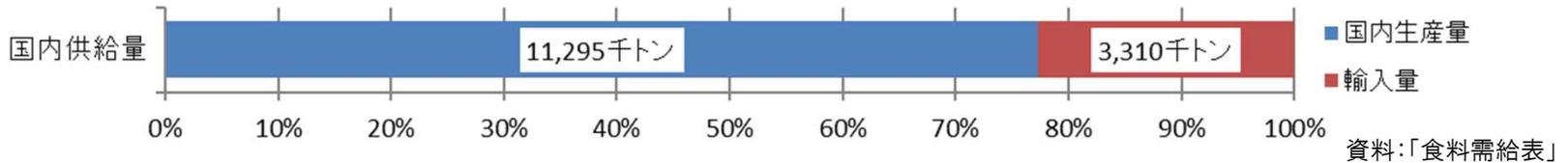
指定野菜の卸売価格の推移(東京都中央卸売市場)



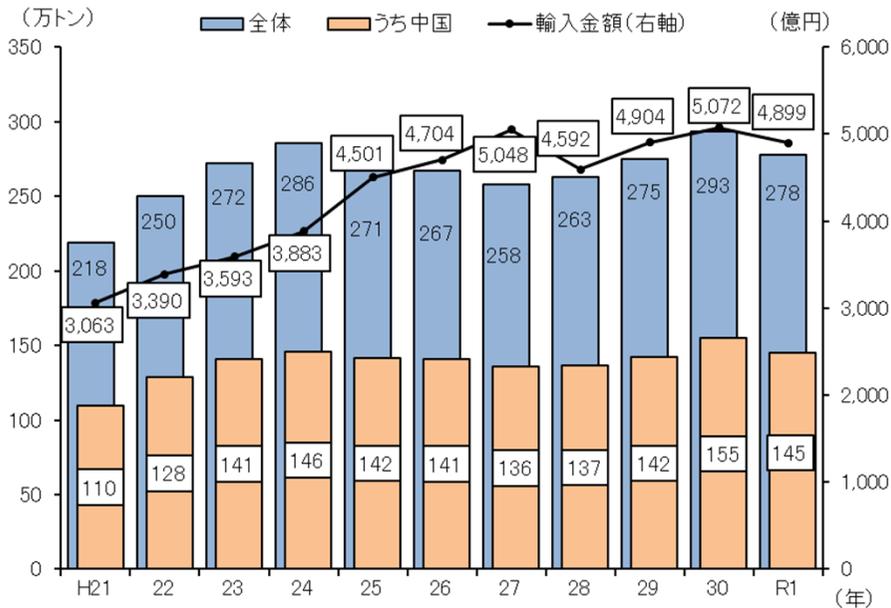
野菜の供給量及び輸出入量の推移

- 日本国内の野菜供給量は、国内産が約8割を占めている。
- 野菜の輸入は、生鮮・加工品を合わせて近年260万～280万トン程度（うち中国からの輸入は5割程度）で推移。
- 平成27年は、北海道産たまねぎの作柄が良かったこと等から、3年連続で輸入量が減少、28、29及び30年は、台風被害とその後の長雨等の影響で不作となったことから輸入量が増加したものの、令和元年は、国内産価格が安価で推移したことから、輸入量は減少。
- 野菜の輸出は、平成27年以降、台湾及び韓国への輸出が増加したこともあり、5年連続で2万5千トンを上回って推移している。

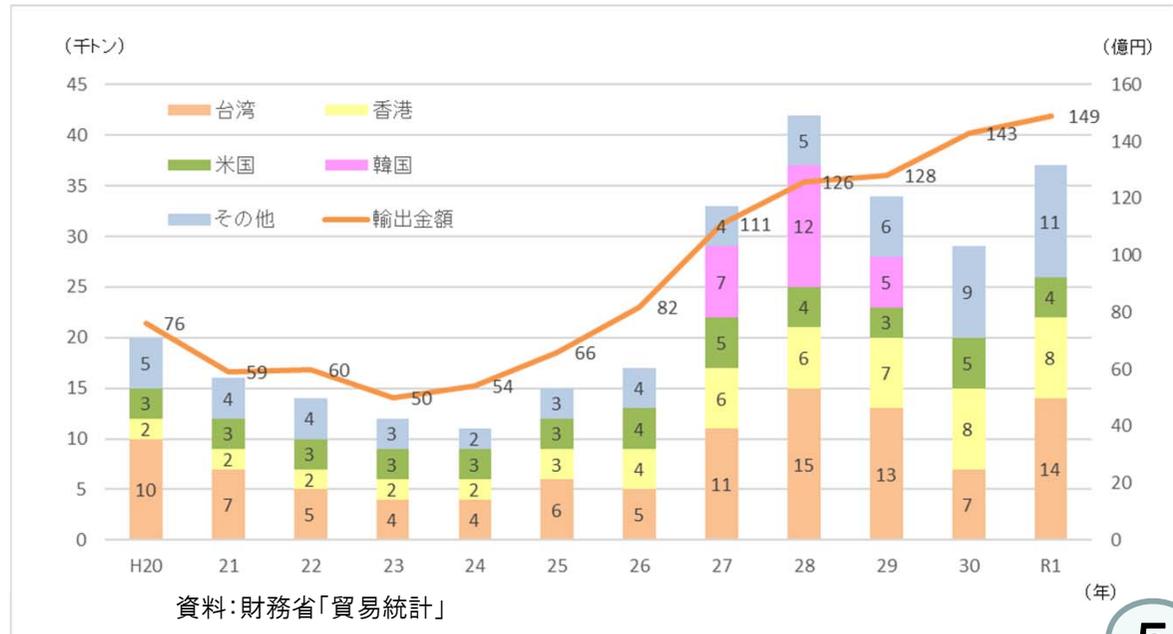
○ 国内供給量(平成30年度)



○ 野菜の輸入量の推移(加工品を含む)



○ 野菜の輸出量の推移(加工品を含む)



(参考)野菜の輸入状況(令和元年)

- 野菜の輸入を国別に見ると、中国からは生鮮たまねぎをはじめ、さまざまな野菜が輸入されている。
- 米国からの輸入は、冷凍ばれいしょが中心である。
- トマト加工品はイタリア、中国、ポルトガル、トルコ等から輸入されている。

中国		(冷凍野菜)	(塩蔵等野菜)
(生鮮野菜)		ほうれんそう 46	きゅうり及びびが-ン 12
たまねぎ	262	さといも 32	(トマト加工品) 20
にんじん	77	ブロッコリー 29	(酢調製野菜)
結球キャベツ	33	えだまめ 21	しょうが 18
ねぎ	62	ばれいしょ 15	(その他調整野菜)
ごぼう	43	いんげん豆等 14	たけのこ 65
にんにく	21	混合野菜 14	しょうが 21
しょうが	20	いちご 13	きのこ 14
はくさい	2		

(単位:千トン)

米国		(冷凍野菜)
(生鮮野菜)		ばれいしょ 289
ばれいしょ	31	スイートコーン 34
ブロッコリー	7	(トマト加工品) 45
		(その他調製野菜)
		にんじんジュース 19
		スイートコーン 20

オランダ	
冷凍ばれいしょ	29

ベルギー	
冷凍ばれいしょ	30

韓国	
生鮮ジャンボピーマン	35

カナダ	
冷凍ばれいしょ	21

トルコ	
トマト加工品	11

エクアドル	
冷凍ブロッコリー	27

イタリア	
トマト加工品	103

台湾	
(生鮮野菜)	
結球レタス	7
(冷凍野菜)	
えだまめ	32

メキシコ	
(生鮮野菜)	
かぼちゃ	38
メロン	11

スペイン	
トマト加工品	22

タイ	
(冷凍野菜)	
えだまめ	22
(塩蔵等野菜)	
しょうが	10
(その他調製野菜)	
スイートコーン	39

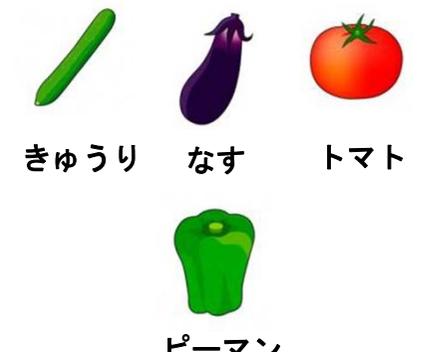
ポルトガル	
トマト加工品	30

ニュージーランド	
(生鮮野菜)	
かぼちゃ	53

資料:財務省「貿易統計」
注:輸入実績が1万トン以上のものを掲載

(参考) 野菜の品目について

- わが国では数多くの野菜が栽培されているが、生産量等が統計で把握されているのは約90品目。
- 全国的に流通し、特に消費量が多く重要な野菜を指定野菜として指定。

	葉茎菜類	果菜類	根菜類	果実的野菜	その他野菜	出荷量 (28年産)
指定野菜 (14品目) 全国的に流通し、特に消費量が多く重要な野菜	 キャベツ ほうれんそう レタス ねぎ たまねぎ はくさい	 きゅうり なす トマト ピーマン	 だいこん にんじん さといも ばれいしょ			928万トン (78%)
特定野菜 (35品目) 地域農業振興上の重要性等から指定野菜に準ずる重要な野菜	こまつな、みつば、ちんげんさい、ふき、しゅんぎく、セルリー、アスパラガス、にら、カリフラワー、にんにく、ブロッコリー、わけぎ、らっきょう、みずな、みょうが	かぼちゃ、さやいんげん、スイートコーン、そらまめ、えだまめ、さやえんどう、グリーンピース、にがうり、ししとうがらし、オクラ	かぶ、ごぼう、れんこん、やまのいも、かんしょ	いちご、メロン、すいか	しょうが、生しいたけ	204万トン (17%)
その他特産野菜 (43品目)	うど、芽キャベツ、モロヘイヤ、もやし等	とうがらし、とうがん等	くわい等		マッシュルーム	56万トン (5%)

資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」「地域特産野菜の生産状況」「特用林産物生産統計調査」